



繪本大関記

七編

十



特 18
1833
82

繪本左衛門記七篇卷之十

目録

一 關元見話

月一國

右國守長次郎長話

安國寺清心之役として明王城を破る國

明王劉綎兵を退くとして外長を説く國

劉綎兵を捕る長話

宮内山明の營中をきて外長を密通する國

陳隣流丸ちんりんりゅうまる中なかつて明軍めいぐん級水きゅうみづとる國

李彝昌智倭兵所退る圖

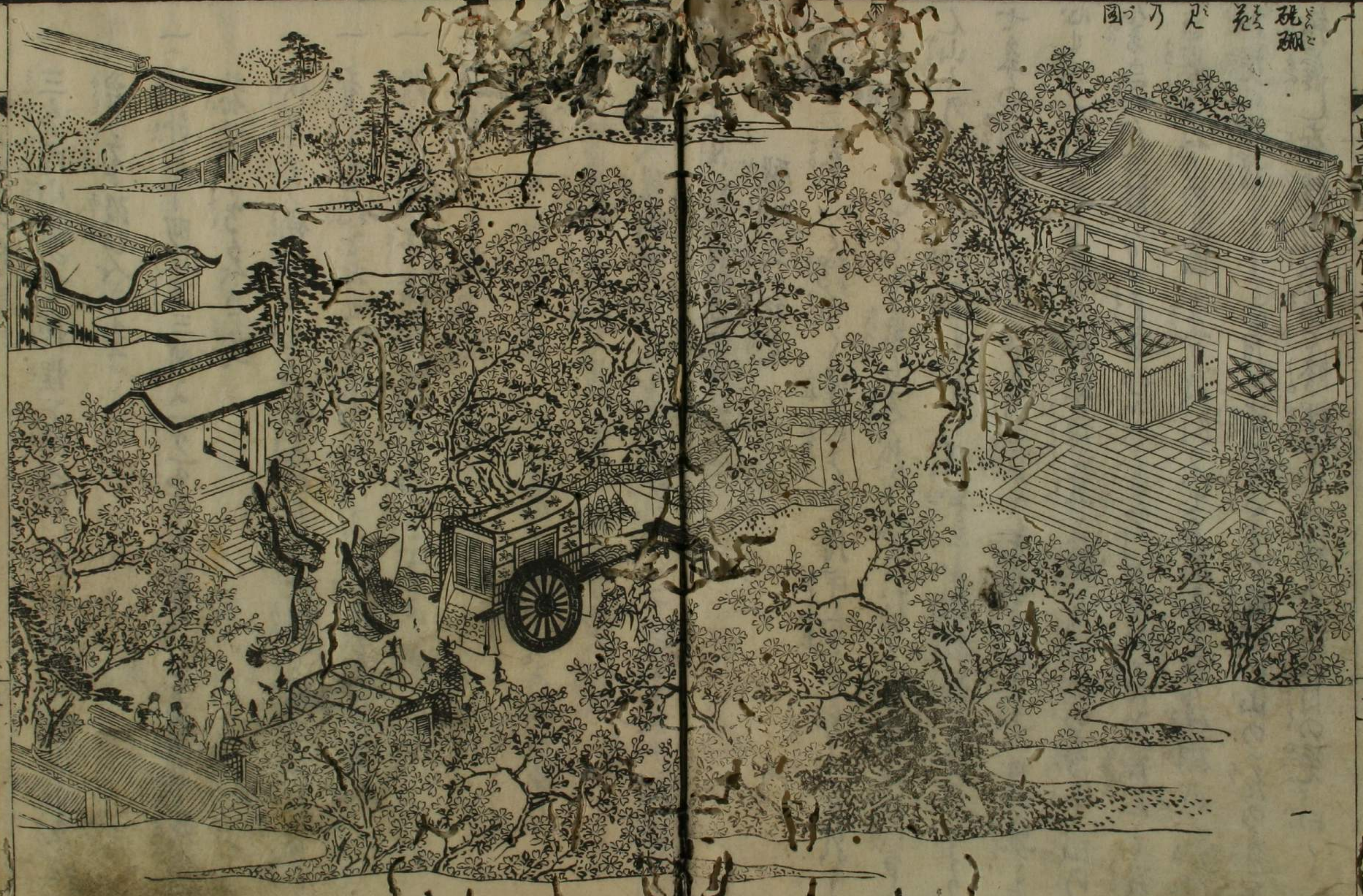
卷之十

醜いづ 翻ひ 之の 花はな 見み

の書といひて瑞々しく書きさす三月中旬より方なり夕夜う
 らむとぞども自らる所をたいたゞふ路り時代なる
 ん山々の本であつた心もなや暎玉と朝鮮國に去る年より
 七年の間兵亂は落めき國王より義武はあつたと二月の安と
 心をく目よりさるる羅旗槍刀耳は聽きの間の夢金鼓の
 筆きつ月う静なるまをむ久く志し心する花を詠んと歎
 き悲まぬものばまりは引いて右岡秀吉云碓砦乃花柳
 松原の沖燈りとく正月の束つくとすり碓砦の山の花の夢を
 經營し奇蹟の波濤と修理せしめ終ふ其武国の是と曰く

國乃見苑硯

真蹟卷十



一、三寶院小破の修理を加へて大破より新く立てし
 翌年中改むべき事

一 院外えいがい五十町ごじうちょう四方三町さんちやう又一ヶ所いっしょの番所ばんしょと最とき弓ゆき張ちやう炮ぱうの
若衆わかしゅくちくぶき変

伏見より醍醐より門々所の左右に将と繕ふをせしめ
 寺々宿れとて殿様の所よりバ修理をせきま

一 院内 庭外 掃除 草をぬき 付るきり
 二 庭外 庭内 掃除 草をぬき 付るきり

脱^{だつ}け^け 往還^{わうわん}の^の 穢人^{ていじん} 爲迷惑^{ゐめいわく}せざる^{せざる} 女^を入^{いれ}ぬ^ぬ べき事^{こと}
 津^つ宰相^{さうしやう} 後^あ膳^{ぜん}を^を 清^{せい}門^{もん}お^お 支^し 増^ま田^{でん}右^{みぎ} 清^{せい}門^{もん} 尉^ゐ

人硯礪熱痛近邊の青い山にて暖けろ受ると云ふ傳り

慶長三年正月
石田治部少輔

長張 大発 ちま

方ちやう快くわいといふ是こゝを疾はやのそとより入はいりては常じょうにうけふ事ことなり
又またいふは其その中うちより出でる事ことなり

このまじり

けし切きり京大坂伏見と交番せる諸大名皆左図の上奥を隔へ

ぞいなん

しよばんめうと云ふ

たう

そ

うろ^{くま}限^{ふり}又^との^ぬ禁^がの^を慌^がま^をの^を傍^がら^をひ^をく^を又^を風^{ふう}流^{りゅう}の^の茶^{ちや}屋^やと^と構^くえ^えき^きと

國しゑみんを^{福が}和ふ時又三月十日のひて定め^{まじ}最^{とう}は^{まへ}に^こ見^み
 日^ひな^なに^に辰^うの^う刻^くより^{より}伏^ふ見^みの^の燃^もと^と出^でせ^せ給^たふ^ふ市^{いち}輿^ごの^の次^{つぎ}分^{ぶん}一^{いち}番^{ばん}

陳類記
二當卷二

四



其
二
卷
十







其五



安國寺法印の住持
多摩川天城の飯く國

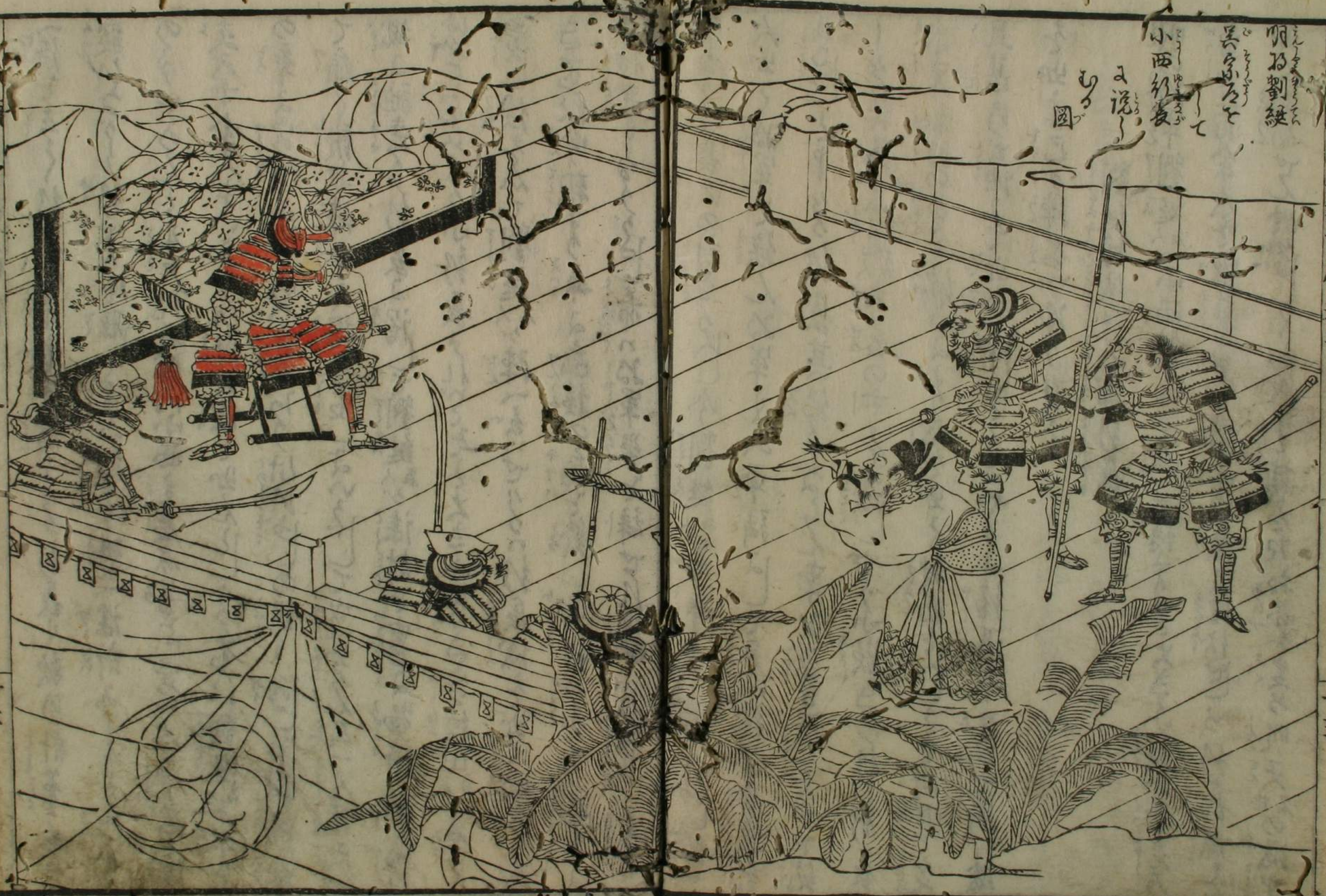
明石劉綏

吳公

小西

又說

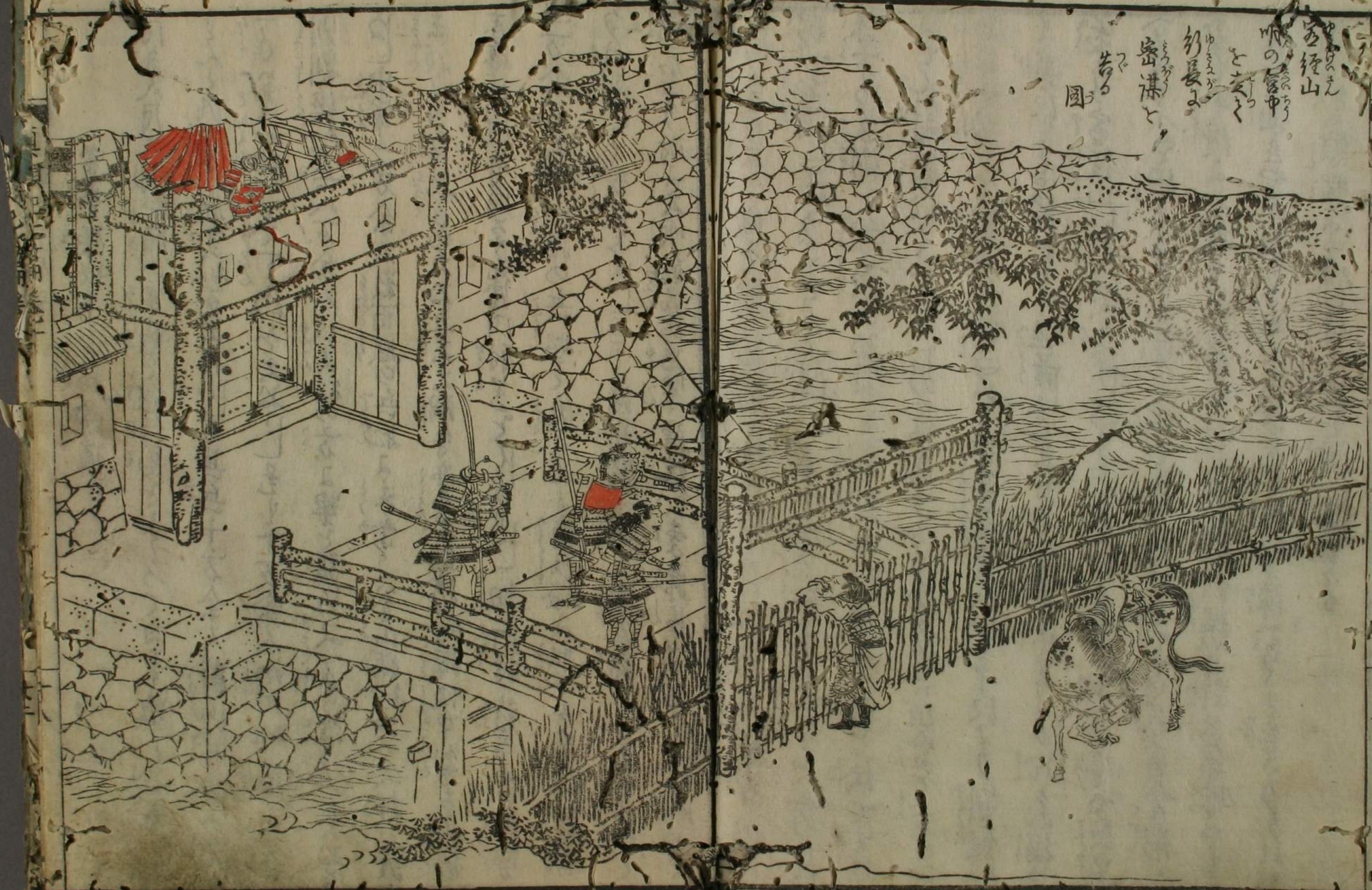
圖



一候とまゝに長の素會を惜み、多分長し敵の計策を、
疑ひながら、勢を以て、勝つるに、勝つるに、勝つるに、
のりや、あんと、本戸、北、南、門、小、西、を、度、度、と、に、め、一、人、出、る、の、勇、
まゝ、十、金、人、を、い、は、う、の、既、に、城、と、出、ん、に、さ、る、あ、に、劉、延、人、が、都、
の、年、は、宮、後、山、人、と、さ、る、若、ら、け、た、少、の、計、に、と、劉、延、人、
て、痛、く、敵、打、陣、中、に、搦、め、込、め、い、は、う、に、て、逃、出、く、人、順、天、
城、に、馳、ま、り、の、長、は、留、り、劉、延、人、が、謀、計、を、審、み、物、語、り、出、城、の、
後、と、い、は、う、の、小、分、長、は、い、は、う、と、さ、る、小、分、長、は、宮、後、山、人、と、さ、る、
當、に、候、を、い、は、う、劉、延、人、が、陣、へ、い、は、う、の、長、城、を、出、て、面、會、と、さ、
き、あ、に、今、朝、より、年、は、麻、接、の、病、と、い、は、う、歩、の、い、え、より、馬、車、と、
は、使、ま、り、い、は、う、に、希、い、の、軍、と、辭、せ、に、遠、く、我、城、外、へ、來、り、
は、う、い、は、う、の、城、を、出、て、面、會、と、さ、る、劉、延、人、が、面、會、の、
後、お、違、て、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、
味、方、の、御、推、察、に、お、軍、と、城、外、へ、お、び、き、さ、る、兵、と、伏、て、生、捕、
り、に、計、策、を、い、は、う、の、長、は、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、
の、軍、小、分、を、彼、に、取、り、見、い、其、危、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、
い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、
あ、う、宮、後、山、人、何、處、へ、さ、り、中、へ、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、
い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、
か、く、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、
と、て、他、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、
劉、延、人、の、懸、懷、を、い、は、う、と、い、は、う、と、い、は、う、と、

真田十勇士

五經山
町の宮中
と云ふ
ゆゑに
初長又
密謀と
云ふ
國





陳之隣
九龍
中
明

陳之隣
九龍
中
明



退く
倭兵
船

長門守
船

[illegible]

繪

2



